

仙台育英学園高等学校硬式野球部に 賛辞の楯を贈呈

8月に阪神甲子園球場で開催された第97回全国高等学校野球選手権大会において、26年ぶりの準優勝を果たした仙台育英学園高等学校硬式野球部に、8月24日、市から「賛辞の楯」を贈呈しました。賛辞の楯は、芸術、文化、スポーツなどの分野で優れた功績を残した市にゆかりのある個人や団体に贈るものです。



▲主将を務めた佐々木柊野選手

「対戦した東北地方のチームの思いも一緒に背負い、東北初優勝の悲願達成に向けて戦いました。熱い戦いを繰り広げてくれた選手たちに感謝しています」と大会を振り返った佐々木柊一朗監督に対し、奥山市長は「決勝戦では先行されても諦めずに力を振り絞り、同点に追いつくなど、東北の底力を全国に発信してくれました。おめでとうございます」とその活躍をたたえました。

市政トピックス

仙台駅周辺帰宅困難者対応訓練を実施

防災の日の9月1日、市内で大震度6強の地震が発生し、公共交通が不通となったためJR仙台駅周辺に多数の帰宅困難者が集ま

復興へ駆ける

愛されて50年―八木山動物公園

仙台市長 奥山恵美子



昭和40年10月に開園した八木山動物公園が、今年50周年を迎えました。開園時は、オランウータン、アジアゾウなど100種360点の鳥や動物たちでのスタートでしたが、その後アフリカ園、ゴリラ舎、は虫類館と施設を拡張し、現在は126種479点と大所帯になっています。この間、大勢の市民の皆さん、とりわけ子どもたちに親しまれてきた八木山動物公園ですが、東日本震災の際には、大変な苦境にさらされました。動物園は多量の水を使う施設です。動物たちの飲み水のほか、園舎の清掃、カバなどのプール等々。1日に3トン車で7回水を運んだこともありました。また、物流の混乱などで餌の入手が困難になり、日本動物園水族館協会に支援を依頼。全国から固形飼料や冷凍魚など総量10トンを超す物資が届き、園の台所を支えました。それでも、チンパンジーは代替の餌を食べず、低血糖性の昏睡に陥るなど、動物たちにとってダメージは少

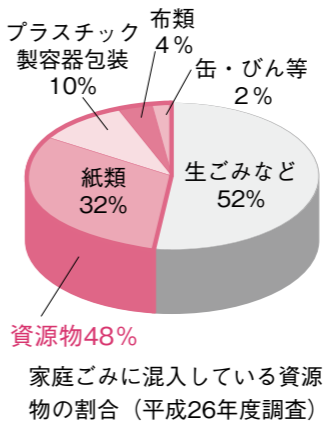
なくなかったと思います。緊急の安全対策の後、再開したのが4月23日。ゴールデンウィークには親子連れの笑顔があふれ、私たちもほっと一安心でした。さて、目下の動物園の悩みは、人間社会と同様の高齢化です。ニシゴリラのドンは、国内最高齢で46歳。ミナミシロサイのシンシアは45歳。ホッキョクグマのナナ30歳なども平均寿命からみると高齢者。世界的に野生動物保護の考えが進み、新たな捕獲や輸入が厳しく制限されている中、自園での繁殖の成功は、国内外の動物園への貢献にもつながります。八木山動物公園では、平成25年5月にスマトラトラ、昨年7月には21年ぶりにレッサーパンダが生まれました。野生のシジュウカラガンの復活も明るいニュースです。八木山動物公園では、これからも繁殖技術の向上とともに、ふれあい動物園の整備など、動物たちの生き生きとした魅力をお伝えしてまいりますので、ぜひ、応援してください。

っている、との想定で対応訓練を実施しました。訓練には商業施設や商店街の従業員、学生ボランティアなど約400人が参加。帰宅困難者にホワイトボードやツイッター等で情報を提供したほか、安全が確認された場所への避難誘導、食料や物資の提供などの手順を確認しました。

市政トピックス

資源ごみの分別にご協力を

震災後、家庭ごみに含まれる資源物の割合が急増し、昨年度は5割近くにまで達しています。混入の割合が高いのは雑がみなどの紙類、次いでプラスチック製容器包装となっています。こうした状況を受けて、市では平成28年3月まで「続・緊急分別宣言!!その袋の半分、資源です。」



キャンペーンを実施し、ごみの減量と分別の推進を呼び掛けています。10月の「秋のワケる強化期間」では、市内約1500カ所の家庭ごみ集積所に職員が何ってごみ分別を呼び掛けたり、コンビニエンスストアやスーパーマーケット等と連携してレジ袋削減の啓発等を行ったりと、さまざまな活動に取り組めます。この機会に、改めてごみの出し方やライフスタイルを見直し、ごみ減量と分別を徹底しましょう。

一般廃棄物処理基本計画の改定案にご意見をお寄せください
市では、平成22年度に策定した「仙台市一般廃棄物処理基本計画」(計画期間=平成23~32年度)の中間見直しを行います。平成28~32年度の計画の改定案について、市民の皆さんからのご意見を募集します。
●改定案の配布場所=10月16日から市役所本庁舎1階市民のへや・市政情報センター、区役所総合案内、総合支所、宮城野区・若林区・太白区情報センターなどで配布するほか、市ホームページでもご覧いただけます
●提出方法=改定案に添付の用紙または任意の様式にご意見、住所、氏名(団体の場合は団体名と代表者の氏名)を記入して郵送、ファクスまたはEメールで11月18日(必着)までに
●改定案の説明会=11月11日(水)19:00~20:00。市役所本庁舎8階ホール。直接会場へ
●申し込み・問い合わせ=ごみ減量推進課(〒980-8671(住所記入不要) ☎214-8230、FAX214-8840、Eメール kan007210@city.sendai.jp)

市政トピックス

2016G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議推進協力委員会設立

来年5月に秋保地区で開催されるG7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議に向けて、会議の開催支援や歓迎機運の醸成、仙台・東北の魅力や復興情報の発信を目的に、8月20日、推進協力委員会を設立し、第1回委員会を開催しました。委員会は、仙台市や宮城県、宮城県警察本部のほか、経済・宿泊・交通関係などの民間団体等で構成。この日の会議では、収支予算案や今後のスケジュール等について話し合われました。

市政トピックス

行財政改革を進めています

市では、平成25年3月に中間見直しを行った「行財政改革プラン2010(中間見直し)」(計画期間=平成22年度~28年度当初)に基づいて行財政改革を推進しています。計画に掲げる112の項目に取り組んでおり、平成27年度当初時点において、計画による累積効果額は約340億円に上っています。今後も引き続き、行財政運営の一層の効率化と適正化を進めると

ともに、市民サービスの向上に努めていきます。

◎行財政改革プラン2010(中間見直し)の実績は、市役所本庁舎1階市政情報センター、宮城野区・若林区・太白区情報センターで閲覧できるほか、市ホームページでもご覧いただけます

市政トピックス

東西線開業カウントダウンボードを設置

12月6日の地下鉄東西線開業まで100日となった8月28日、JR仙台駅西口ペDESTリアンデッキと市役所本庁舎正面玄関にカウントダウンボードを設置しました。仙台駅に設置したカウントダウンボードは高さ2.2メートル、幅1.45メートルで、開業までの日数がデジタルで表示されています。除幕式に出席したWEプロジェクト実行委員長の清水勝敏氏は「今後、市民の方が参加できる開業イベントも予定しており、カウントダウンボードを見て、開業を心待ちにして欲しい」と話していました。



▲JR仙台駅西口2階ペDESTリアンデッキに設置されたカウントダウンボード